



報道発表資料の配付日時 2月21日(火) 11時00分

発表項目 (行事名)	「令和4年度水稲低コスト・省力化生産技術研修会」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>次のとおり「令和4年度水稲低コスト・省力化生産技術研修会」を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 趣旨 水稲栽培における低コストで省力的な生産技術の導入を総合的に推進することを目的に、生産者、普及センター、農業関係機関等を対象とした研修会を開催します。</p> <p>2 日時 令和5年2月28日(火) 13:30～16:00</p> <p>3 場所 北海道大学学術交流会館 講堂</p> <p>4 内容 (1) 基調講演 「スマート農業技術の現状と活用事例」 (一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター)</p> <p>(2) 試験場からの研究成果説明 ①「水稲新品種の育成について」 (中央農業試験場水田農業部) ②「稲作経営の将来像について」 (中央農業試験場農業システム部)</p> <p>(3) 普及センターから地域の取組事例紹介 ①「WCS用稲直播栽培の事例」 (上川農業改良普及センター) ②「乾田直播・輪作の事例」 (空知農業改良普及センター)</p> <p>5 参集範囲 生産者、市町村、農業関係機関・団体、資機材メーカー、農政事務所、農業試験場、農業改良普及センター、道(総合)振興局等</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> 水稲栽培において、生産者の関心が高い低コスト・省力化技術を幅広く紹介しますので、当日の積極的な取材についてよろしくお願いします。 取材いただける場合は別添の参加申込書により、令和5年2月24日(金)までに、道庁農産振興課までお申込みください。 取材当日は、マスクの着用等にご協力いただくとともに、発熱や風邪症状がある場合は、取材を控えていただくようお願いします。 		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	農政部生産振興局農産振興課こめ係(担当者:黒田、濱名) TEL ダイヤルイン 011-204-5435 内 線 27-708		

令和4年度 水稲低コスト・省力化生産技術研修会

参加申込表

○ 出席者をご記入ください。

機関・団体名	氏名	連絡先

令和5年2月24日(金)までに北海道農政部農産振興課こめ係(担当:山本)あてにご提出ください。FAX:011-232-4132

令和4年度 水稲低コスト・省力化生産技術研修会 開催要領

1 趣旨

米をめぐる環境が大きく変わる中、本道が米主産地としての地位を揺るぎないものとしていくため、多様なニーズに対応した安定生産・安定供給を図るとともに、水田機能の維持と生産力の確保を図る必要がある。

このため、水稲栽培における低コストで省力的な生産技術の導入を総合的に推進することを目的に、生産者、普及センター、農業関係機関を対象とした研修会を開催し、道内の低コスト・省力化技術に係る取組事例及び研究成果の紹介を行う。

2 主催 北海道

3 日時 令和5年2月28日（火） 13:30～16:00

4 場所 北海道大学学術交流会館 講堂

5 内容

(1) 基調講演

スマート農業技術の現状と活用事例

講師：一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センター 南部専務理事

(2) 試験場からの研究成果説明

①水稲新品種の育成について（当日発表課題を変更する場合があります）

説明者：中央農業試験場 水田農業G 山下研究主任

②稲作の経営について

説明者：中央農業試験場 農業システムG 山田主査

(3) 普及センターから地域の取組事例紹介

①WCS用稲直播栽培の事例

説明者：上川農業改良普及センター士別支所 立浪専門普及指導員

②乾田直播・輪作の事例

説明者：空知農業改良普及センター 谷村普及指導員

6 参集範囲・参加人数

- ・生産者、市町村、農業関係機関・団体、農政事務所、資機材メーカー、農業試験場、農業改良普及センター、道振興局等
- ・250名程度

7 参加申込・お問合せ

別紙様式により令和5年2月17日（金）までにお申し込みください。

北海道農政部生産振興局農産振興課こめ係（電話：011-204-5435）

8 留意事項

- (1) 申込者多数の場合は、事務局にて人数調整をさせていただく場合がございます。
- (2) 研修会後、道農産振興課HPにて当日資料を公開する予定です。